



2015.3.22-29

第9回台南市青少年訪問団

報告書

主催：公益財団法人 仙台国際交流協会



目次

はじめに	1
実施概要	2
団員名簿	3
行程表	4
活動班の紹介	5
活動レポート	13
特集「9期大辞典」	33
特集「台南学級のゆかいな仲間たち」	34
アルバム	36
台湾サポーターからのメッセージ	40
仙台サポーターからのメッセージ	45
同行者より	47
Tシャツデザイン紹介	48



はじめに

平成 24 年 2 月に派遣が始まった台南市青少年訪問団の最後となる第 9 回目の訪問団は、高校生 27 名、大学生サポーター 2 名に協会の同行職員 2 名の計 31 名により、平成 27 年 3 月に実施されました。

多くのご家族の見送りを受け、まだ肌寒い仙台を発った訪問団。宿舎となる樹谷会館への到着は、飛行機の遅れもあり、現地時間で夜中の 1 時を回っていました。初日の朝、少し疲れの见えていた団員達も、朝食後の台湾サポーター達との交流で元気を取り戻しました。

初日は安平の古跡めぐりや茶道体験を楽しみ、翌日からの盛り沢山の活動に体調を崩す団員もなく、全員が最後まで元気に取り組んでくれました。障害者施設でのボランティア活動では、ダンスやゲームで交流し、みんなで作ったちぎり絵は思った以上の出来栄でした。高校訪問では、急遽、ゲームに替えて踊った「妖怪体操」で一気に打ち解け、にぎやかな交流となりました。広大な奇美博物館は平日にもかかわらず、多くの人が訪れていました。烏山頭ダムに行った後の昼食は、奇美職員ジェイソンさんのお母さん達が用意してくれ、粽とビーフンなどとても美味しく、お代わりを何度もしました。

あっという間の台南最終日を前に、みんな遅くまでお別れ交流会の準備。この 6 日間ずっと、就寝は午後の 12 時を過ぎていました。いよいよ、台南の 6 日間をともにしてくれたサポーターとのお別れの時、いろいろ準備して臨んだお別れ交流会、深く刻まれた思い出と共に最後は涙となりました。この訪問団で、全ての団員が言葉では言い尽くせない、素晴らしい体験をできたと確信しています。

団員たちは、毎日深夜まで、翌日の活動の準備をし、日々の活動に一生懸命に取り組み、十二分にその使命を果たしてくれました。心より、この訪問団の団員全員と二人の学生サポーターに感謝します。

最後に、奇美グループ、樹谷記念財団の方々、そして台湾の学生サポーターの全力での支援には、ただただ頭が下がるのみ、感謝の言葉も見つかりません。多謝。

平成 27 年 7 月

公益財団法人 仙台観光国際協会（事業実施時は仙台国際交流協会）

台南市青少年訪問団について

仙台市と友好交流促進協定を結ぶ台湾の台南市では、東日本大震災の直後から、「送愛到仙台（仙台に愛を送ろう）」の名のもとに活発な募金活動が行われ、また、台南市に本拠地を置く奇美グループがスポンサーとなり、「復興を担う人づくりこそ経済的支援にも勝る最も確かな支援である」という考えのもと、3 年間で約 300 人の仙台の青少年を台南に招待するプロジェクトが生まれました。

これを受け、仙台国際交流協会では平成 24 年 2 月の第 1 回訪問団派遣を皮切りに、9 回の派遣で計 268 名の学生が台南市を訪問しました。現地滞在中は、奇美グループ職員の方々や、日本語を学ぶ台湾人大学生のサポートを受けて、様々な交流事業に参加しています。

実 施 概 要

仙台市と交流促進協定を結ぶ台南市に青少年を派遣し、現地の青少年との交流や台南市内の見学、日本文化の紹介などを通して、異文化理解を深める機会とする。また、震災後にいただいた支援への感謝や、現在の仙台の状況を伝える機会とする。

1. 訪 問 先 台湾 台南市および近郊
2. 実施時期 2015 年 3 月 22 日(日)～3 月 29 日(日) 7 泊 8 日
3. 主 催 公益財団法人仙台国際交流協会
4. 協 力 仙台市
5. 後 援 仙・台友好交流促進協会
6. 参加人数 青少年 27 名、サポーター 2 名、 同行者 2 名
7. 募集対象 仙台市内にお住まいか通学している高校生または高等専門学校生(1～3学年)
で、下記の条件を全て満たす方

- 1 学生であること
- 2 心身ともに健康であること
- 3 日本国籍を有すること
- 4 国際交流、異文化理解に関心があり、訪問団の趣旨を理解・賛同し、団体行動に参加可能であること
- 5 定められた日程・旅行条件で参加できること
- 6 東日本大震災での経験を踏まえ、台湾の方々に仙台の元気や、感謝の想いを伝えることができること
- 7 事前・事後研修(全4回程度)に参加できること
- 8 平成 23～26 年度に仙台国際交流協会が主催した海外派遣事業に参加していないこと
- 9 保護者の承諾が得られること

8. 事前研修

- 第 1 回 2015 年 1 月 31 日(土): 訪問団概要説明、仙台市と台南市の関係について
第 2 回 2015 年 2 月 14 日(土): 過去団員の経験談、交流会・ボランティア活動の準備など
第 3 回 2015 年 3 月 7 日(土): 「台湾の歴史と文化」の講義、中国語レッスン、旅程確認

9. 事後研修

2015 年 4 月 11 日(土): 訪問団の振り返り(グループワーク、感想発表)、報告書作成について



第9回台南市青少年訪問団 団員名簿

	名前	ふりがな	性別	学校名	学年
1	阿部 楓香	あべ ふうか	女	聖ドミニコ学院高等学校	2
2	遠藤 佑香	えんどう ゆか	女	聖ウルスラ学院英智高等学校	1
3	大友 沙紀 (副団長)	おおとも さき	女	宮城県仙台第一高等学校	1
4	大友 椎菜	おおとも しいな	女	宮城県仙台二華高等学校	2
5	小田 創	おだ はじめ	男	宮城県仙台第二高等学校	3
6	貝森 政仁	かいもり まさひと	男	仙台市立仙台高等学校	3
7	加藤 未央	かとう みお	女	宮城県仙台東高等学校	2
8	桐田 梨生	きりた りお	女	仙台白百合学園高等学校	2
9	久村 理子	くむら りこ	女	聖ウルスラ学院英智高等学校	1
10	黒田 弥佑	くろだ みゆ	女	学校法人南光学園東北高等学校	1
11	後藤 隆太	ごとう りゅうた	男	国立仙台高等専門学校	2
12	小湊 美穂	こみなと みほ	女	国立仙台高等専門学校	2
13	今野 智子	こんの ともこ	女	宮城県仙台二華高等学校	2
14	佐藤 怜美	さとう れいみ	女	宮城県仙台二華高等学校	1
15	設楽 悠太	しだら ゆうた	男	仙台市立仙台青陵中等教育学校	4
16	庄子 茉弥	しょうじ まや	女	聖ウルスラ学院英智高等学校	2
17	菅原 理花	すがわら りか	女	宮城県仙台二華高等学校	1
18	大道寺 真名 (副団長)	だいどうじ まな	女	宮城県仙台東高等学校	3
19	高橋 杏佳	たかはし きょうか	女	東北学院榴ヶ岡高等学校	2
20	田口 諒 (副団長)	たぐち りょう	男	東北生活文化大学高等学校	1
21	田辺 萌	たなべ もえ	女	尚綱学院高等学校	2
22	富田 利玖 (団長)	とみた りく	男	聖ウルスラ学院英智高等学校	2
23	本田 美咲	ほんだ みさき	女	尚綱学院高等学校	2
24	増山 ゆい	ますやま ゆい	女	宮城県仙台二華高等学校	1
25	森 美咲	もり みさき	女	宮城県仙台三桜高等学校	1
26	山本 菜摘	やまもと なつみ	女	宮城県仙台第二高等学校	1
27	鍵水 葉奈	やりみず はな	女	宮城県仙台二華高等学校	1

男:6人、女:21人、15校

■サポーター

1	氏家 由希子	うじいえ ゆきこ	女	山形大学	1
2	長岡 佑紀	ながおか ゆうき	男	東北大学	3

■同行職員

1	二本柳 基	にほんやなぎ もとい	男	(公財)仙台国際交流協会	
2	川合 朋子	かわあい ともこ	女	(公財)仙台国際交流協会	

第9回 台南市青少年訪問団行程表

日次	日にち	都市	移動手段	時間	行程	食事	宿泊先
1	3/22(日)	仙台	仙台空港	13:30	仙台空港 1F 待合室3A	各自	樹谷会館
		仙台-台北	飛行機 BR117	16:15発 - 18:55着	仙台空港⇒台北桃園空港	機内	
		台北-樹谷園	専用バス	24:00頃着	桃園空港⇒樹谷会館		
2	3/23(月)	台南市	専用バス	8:00 - 8:30	朝食(樹谷会館)	○	樹谷会館
				8:30 - 10:00	学生同士の交流 & 樹谷の案内		
				10:00 - 10:30	移動		
				10:30 - 12:00	古跡-安平古堡	×	
				12:00 - 13:30	昼食 安平老街		
				13:30 - 14:00	移動		
				14:00 - 16:00	台湾茶道体験		
				16:00 - 17:30	古跡-孔子廟		
				17:30 - 17:50	移動	○	
				17:50 - 18:40	夕食(ショーロンポー)		
3	3/24(火)	台南市	専用バス	8:00 - 8:30	朝食(樹谷会館)	○	樹谷会館
				8:30 - 9:00	移動		
				9:00 - 12:00	ボランティア活動		
				12:00 - 12:15	移動		
				12:15 - 13:45	昼食(樹谷食堂)	○	
				13:45 - 14:30	移動		
				14:30 - 17:00	樹人高校訪問・交流		
				17:00 - 18:00	移動		
				18:00 - 21:00	台南古跡、街歩き	×	
				21:00 - 22:00	移動		
4	3/25(水)	台南市	専用バス	8:00 - 8:30	朝食	○	先住民の村
				8:30 - 9:30	移動		
				9:30 - 11:30	奇美博物館の見学		
				11:30 - 12:00	昼食(お弁当)	○	
				12:00 - 13:00	奇美博物館の見学		
				13:00 - 15:00	移動		
				15:00 - 18:00	先住民の生活体験	○	
				18:00 - 19:30	夕食(先住民オリジナル料理)		
				19:30 - 21:30	先住民パーティー		
5	3/26(木)	台南市	専用バス	8:00 - 9:00	朝食	○	樹谷会館
				9:00 - 9:30	移動		
				9:30 - 12:00	先住民小学校訪問		
				12:00 - 12:30	移動		
				12:30 - 13:30	昼食(客家料理)	○	
				13:30 - 13:50	移動		
				13:50 - 17:00	台湾鉄道 - 車埕見学		
				17:00 - 18:30	移動		
				18:30 - 21:30	花園夜市、夕食	×	
				21:30 - 22:30	移動		
6	3/27(金)	台南市	専用バス	8:00 - 8:30	朝食	○	樹谷会館
				8:30 - 9:30	移動		
				9:30 - 11:40	烏山頭ダム		
				11:40 - 12:00	移動		
				12:00 - 13:30	昼食(ちまき)	○	
				13:30 - 14:30	移動		
				14:30 - 17:00	温泉(關子嶺)		
				17:00 - 18:00	移動		
				18:00 - 19:00	夕食(樹谷食堂)	○	
				19:00 - 21:00	お別れ交流会の準備		
7	3/28(土)	台南市	専用バス	7:30 - 8:00	朝食	○	台北中信ホテル
				8:30 - 9:30	大洲地区の見学		
				9:30 - 10:30	移動		
				10:30 - 11:40	海		
				11:40 - 12:40	移動、着替え		
				12:40 - 14:30	昼食(樹谷食堂)、お別れ交流会準備	○	
				14:30 - 18:30	お別れ交流会		
				18:30 - 19:30	夕食(樹谷食堂)	○	
8	3/29(日)	台北市	台湾新幹線 専用バス		台南駅→桃園駅 ホテルへ		台北中信ホテル
		台北市	専用バス	6:00-7:00	ホテルから空港へ移動	○	
		台北→仙台	飛行機 BR118	10:05-14:15	桃園空港⇒仙台空港	機内	
		仙台	各自	15:15頃	解散		

台南市青少年訪問団 報告書

活動班の紹介







GROUP 2



いろいろなお店で
shopping~♪

このプログラムの最中に私は過ごした時間以上の
繋がりを築くことが出来ました！この繋がりを
絶やさず、この先も台南市との交流に取り組み
たいです。メンバーや協力して下さい皆さん、
ありがとうございました！ By リゅう



りゅう

友達もたくさんできて充実した！週間でとっても楽
しかった♡また台湾いきたい～！！そして、これから
も仙台と台南の交流を続けていきたい！ By りお



りお

小籠包最高に美味しかった!!!♡♡♡



こんなに楽しかった時間は他にはありません。台湾に
魅了されました！いつかまた。謝謝!!!! By れいみ

このプログラムは楽しさと温かい思い出でいっぱい
でした。最高の仲間に出会えて本当に幸せで、1 週間は
あっという間でした。この経験を必ず今後の交流に生
かしたいと思います!! By みさき



れいみ



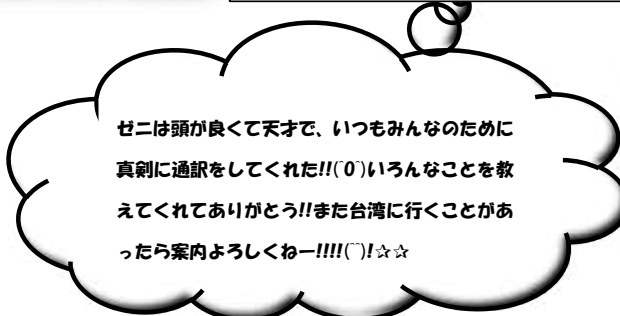
みさき



台湾で出会った友達は私にとってかけがえのない宝物になりました！♡ほ
んとに参加して良かった！すごく楽しかった！みんなありがとうー！みん
なだいすきー！！これからもっと台湾と日本がなかなくなりますよう
に・・・♡私自身、自分に何が出来るのかを考えてそれを行動に移したい！
台湾と日本をつなぐ架け橋となるように・・・ By きょうか



きょうか



ゼニは頭が良くて天才で、いつもみんなのために
真剣に通訳してくれた!!(〇)いろんなことを教
えてくれてありがとう!!また台湾に行くことがあ
ったら案内よろしくねー!!!!(〇)!☆☆



トゥース!!!!(笑)



ゼニ

2 班はのんびり楽しくたくさん買い物しました！途中で
買い物に夢中になりすぎてはぐれてしまいそうになったこ
ともありました(笑)わからないことがあったらいつもゼニ
が助けてくれたのですごく助かりました。ゲームではいつ
も順位が高くて罰ゲームにならないラッキーな班でした☆
これからもずっとお互い仲良くしていこうね\ (〇) /♪



楽しかった！ 我愛你 3 Group 台湾 最高の7泊8日間 ... 真开心！

~INTRODUCTION~



Mayo

広報担当



仁仁

広報担当

広報担当

Ma



Riko

広報担当



Miho

広報担当



Ryo

行方不明担当

~MEMORY~



夜市 仁仁とMayoのデパート



孔子廟



お別れ会 聯合会 仁仁とMayo



仁仁とMayoのデパート



仁仁とMayoのデパート



茶道体験

茶道体験

感謝



いちばん泣いた!!

最高の

4期生



富田 利玖



たのみなめ太郎
一見人見知り! だけど、
知るとめっちゃ女の子。女子
力ば台湾メンバー1。
鬼力げこのたに管。

黒田 弥依



キチガイ野郎マスママ!!
唯一のお友だちはウチの君が
一家に一台は必要トランプ
メーカー!! コクサえて美術部だ
あこがれ上手い!

ニンゲンおじさんこと目長!!
たすおじさん人漫才した人
意外とハイスパーク!!!!!!
こう見えてとても優しいけど、
とてもおもしろい笑けど、本当
感謝してます! まじめでくれ
ありがとうへじ

今野 智子



ブラッディデレラことみゆみゆ
顔はとっても可愛いんです
顔は! 部活は自宅警備員
はなさんをききまくらに
寝ています。。コクサえて、
学級委員!!

増山 ゆい



ゆいてーに会えて
本当に良かった!



♡ 我爱你 ♡
♡ ゆいてー ♡
♡ ゆいてーってこんな人!! ♡



4大事件

☆ お墨付き事件

みゆみゆバドグにはまり白いハイヒール
バドグ他に.. サングラスを求めさまえたみゆみゆ

☆ とも2、運が何く事件

とも2のぼろしに鳥のフコガ!
元気をなくしたとも2...

☆ ゆいてーバロバロ事件

お酒に弱いゆいてーは、酔うとバロ
バロ! まじ可愛いそしてしょうにいじられる。

☆ ハワイ事件

団長は帰国にその日に
ハワイへ行きました。

♡ 台湾1可愛い19歳 ♡
♡ とっても優しい ♡
♡ 笑顔がステキ (いれし) ♡
♡ エンジェルボイス ♡
♡ 大人...! ♡ 天然ちゃん(笑)



♡ すりりモデルさん ♡
♡ とっても日本語上手! ♡
♡ 気さくでフレンドリー ♡
♡ バスでいつも ♡
♡ 寝てた(笑) ♡
♡ たすけてくれ? ♡
♡ LOVE ♡

ゆいてーと過ごした
時間は一生の宝物です
大大大大大好き!! 9月1日
デズニールランドへ行く
予定!! ゆい

拝敬 楊海方様
大好きです。大大大好き!
一週間ありがとう!!
ゆいてーと過ごした日に
感謝!! 出会えて良かった!!
これからよろしくね!
敬具 平成27年 今野 智子

ゆいてーにいつも
元気もらってます。
超絶ありがとう
いい恋愛してね!!



(加藤 未央) (かとう みづな)
(大友 雅策) (おとも まさくさ)
(張 綺 収) (ちやう きゆう)
(ゆみ) (ゆみ)
(設楽 俊太) (せつらく しゅんた)
(たう) (たう)
(鍾 水 葉奈) (しゆん すい えな)
(はな) (はな)

用語辞典

- ・ あっせんす
- ・ 資料をいふ事か?
- ・ お腹すいた
- ・ 疲れた一屋たい
- ・ 乙かさー



安平古堡
JUMPするも
失敗ばかり

鳥山頭ダム
遠く一さんの地
近法太
カメラ



ゆみ 日本語超上手
天然な天竜人(志と金持ち)
だら 勤勉 A型人間
筋肉は9期1位
はな 食いしん坊な軟体少女
たまにはは美女 とにかく元気
しい 基本土屋対応だ"け"は温かい
(おかく鼻から逃げ回った
かといん あだ名は伝説 盛り上げ番長

太陽館でお昼ようね
今度は台北案内にね
5期生のサポーターが
ゆみで良かった♡



馬の前で
な顔が勢

・ 食うことに貪欲
・ 疲れたら不機嫌
・ まじめなら分前集合

5期生の鬼気力





ロクロクなテンションの5人

《ロクロクなメンバー》



具森政仁 (モリモリ)

- ・普段は寡黙だがお酒を飲むと人格が変わる。
- ・先住民の家のお泊りセツを洗濯ネットに

入れて持ち運ぶなど天然な一面も！

- ・バスケットボールと小田さんをこよなく愛する9期のジェントルマン。



何松俊 (ショウヤン)

- ・我々がリーダー！
- ・優しくて頭脳はの変人
- ・お酒が入るとニヤニヤしておかしくなる。
- ・あごが凶器！



大道寺まな

(まなていー)

- ・よく笑いはよく泣きよくモテる
- ・後輩に慕われる9期みんなのお姉さん。
- ・キャラクターでたとえるならくまもん。



森みさき (みさお)

- ・可愛くてふわふわしてる
- ・慣れてくると毒を吐きたい先輩をバカにしたいとめちゃうちゃ。
- ・涙もろくて素直な妹的存在。



大友沙紀 (さき)

- ・ドラえもんが大好きで見つけるとはしゃぐ。
- ・第一印象は変な人だけど意外と正義感がある by モリモリ
- ・前髪がいろんな意味ですごい。



《ロクロクな珍事件 best3》

1 Boysターニングポイント

先住民の村訪問の夜、ダンスを踊ってみんなテンション MAX！
お酒の助けでヒートアップしたモリモリ、ショウヤン、長パンさんはアゲアゲ！！
この日を境に班としてだけでなく全体として打ち解けることができた！

2 男気じゃんけんIn夜市



臭豆腐の匂いが立ち込める夜市へ…。男気じゃんけんを勝った人が鳥の首や鴨の血などのゲテモノを買ってそれをみんなでシェア。
見た目と味のギャップに驚きつつ、みんなで食べまくりの楽しい時間を過ごした！

3 モリモリ鍵なくす

モリモリがキャリーバックのカギをなくして大騒ぎ！
みんなでカギを探すも見つからず、どうするかと思いきや…
「救世主小田サン」登場！ピッキングで開けることができた！



《最後に》

たくさんの人に出会い、支えられ、そして笑いあい泣きあったあの8日間は濃すぎるくらいに楽しくて、私たちの一生の宝物になりました。本当のつながりは帰国し離れ離れになったここからです。出会えたものすべてに感謝しています。ありがとう。 **多謝**



台南市青少年訪問団 報告書

活動レポート



暑くてあったかいんだからあ〜♡台南

阿部 楓香

台南は、太陽がまぶしくて暑い。そして、太陽よりも何倍もあったか〜い人たちがたくさんいる。居心地が良くて、老後は永住したいとさえ思った。台南は素晴らしいところだ。初日から緊張して何を話していいかわからないし、中国語を覚えていなかった私は戸惑っていた。しかし、そこに現れた1班のサポーターのカニちゃんが、笑顔で私たちに話しかけてくれた。1日中一緒に過ごしているうちに、たくさん会話をしてカニちゃんについて、



台南について、知ることができて嬉しかった。日本について説明した時には、自分が住んでいる国に関心を持ってくれているのが何よりも嬉しかった。彼女が話す日本語はとても正確で、観光地のガイド・通訳も分かりやすかった。そのおかげで台南のことが大好きになったし、今度は自分が中国語を覚えて、仙台の街を案内できればいいなと思った。中国語が話せれば、今よりももっと自分についても、仙台についても知ってもらえるはずだ。

2日目の樹人高校訪問で、私はある学生の言葉に驚いた。それは、将来就く仕事に日本語を使うわけではないけれど、日本語学科で勉強をしています。という一言だった。日本が好きだから、今まで努力を続けてきて話せるようになったんだと思うと感動した。私は、自分が外国語を勉強する姿勢を見直そうと思った。台湾でお世話になったサポーターさん、頼ってばかりでごめんなさい。

これからは頼れる日本人として、みんなに恩返しができるように頑張る。次に会う時は約束した通り、カッコいい美容師になっているはず。楽しい世界を見せてくれた台南、支えてくれた人たち、本当にありがとうございました。多謝！

「台湾と日本の未来に」

遠藤 佑香



始めに台南市青少年訪問団の企画に携わった全ての方々に感謝の気持ちを込めて。私はこの訪問団に参加するにあたって、日台史（日本と台湾の歴史）について少し勉強しました。元々参加しようと思った理由の一つに台湾の歴史や文化を知りたいというのがあったためです。日台史は戦国時代から始まりいまに続くとても長いもので、中でも日清戦争後、日本の統治時代の歴史は今の日本と台湾の関係に繋がるととても重要なものです。台湾の発展に貢献したことで有名な八田興一が活躍したのもこの頃だったと思います。今回、彼の造った烏山頭ダムを見学しましたが、想像していたよりも遥かに大きくまるで大きな湖のようでした。このダムができた時どれだけ多くの台湾人の生活が救われたことか、事前研修で八田の映画を見た



ときも思いましたが、八田の台湾を想う強い気持ちがなければなし得なかった事だと思います。私たち訪問団の中にも台湾を訪れて、台湾の良さを知り、台湾の為になることをしたいと願うメンバーが沢山います。将来台湾の大学に行きたい、台湾で働きたい、そんな一人一人の小さな願いがいつか台湾の発展に大きく関わっていくかもしれません。例えそうでなくとも台湾を想う人達がいれば日本と台湾の関係は良いものであり続けられると思います。そんな未来を担っていく私達学生がこのような企画に参加できたことは本当に良かったと思います。最後に、私達を温かく迎えてくれた台湾の人達には本当に感謝しています。謝謝!!道すがらに会ったお婆ちゃんから一緒に過ごした台湾のサポーターの方々まで本当に誰もが親切で優しい人達でした。また来たいです台湾!!

知る触れる感じる 大友 沙紀

9期青少年訪問団に参加した目的は「知ること」でした。自分の知らない世界を知りたい。学校の友人間でも震災認識に差があるのだから海外だとどうなのか知りたい。台南の人々が見ず知らずの日本人のためにあんなにも支援をしてくれた理由が知りたい。そう思って参加しました。

しかし、いざ行ってみるとハードな工程をこなすだけで精一杯。目的を意識して自発的に行動する余裕なんて私には到底なく、楽しい時間は夢のよう早く過ぎていきました。

そんな中でも自分の見えていなかったものを「感じる」ことはできたとおもいます。サポーターはもちろんのこと、身振り手振りで伝えようとしてくれた樹人高校の生徒、数字を手を書いて値段を教えてくれたお店の人、多くの人に触れて人の温かさを感じてきました。また、匂い、空気、食べ物、言葉、建物、じゃんけんのリズム、など海外経験のないの私にとってすべてが初体験で触れるものすべてに感動し新鮮味と面白を感じました。

訪問を用意してくれた大学生やSIRAの方々、通訳案内のみならず一生懸命日本語で話しかけてくれたサポーター、一緒に7泊8日をすごし一緒に素敵な思い出を作った9期のみんなのおかげで将来の糧になるような経験ができました。尊敬できる人、繋がりたいと思える人に出会えたことは私の一生の財産です。ありがとうございました。また会いましょう。



謝謝！多謝！たくさんのありがとう 大友 椎菜

朝から晩までぎっしりの予定で、あっという間に過ぎてしまった一週間。事前研修で大学生サポーターのながぱん、ゆっこさん、またSIRAの川合さんを初めとする経験者の方々に話は聞いていましたが、



その時の私は正直に言うと、そんなに充実した一週間を過ごせるのかよ！と疑問でいっぱいでした。が、台湾に着くとそれは一瞬で消え去りました。

台湾のサポーターたちは、真面目で一生懸命な人ばかりでした。古都巡りでは台湾の歴史を教えてくれたり、バスの中では台湾の日常について話してくれたりしました。台湾の事を知ってもらいたいという気持ちが伝わってきて、私たちの台湾で過ごす日々が最高なものとなるよう、寝る間も惜しんで準備してくれたのだらうと思うと、とても嬉しい気持ちになったし、何よりも感謝の気持ちでいっぱいでした。また、台湾のサポーターや高校で日本語を学んでいる生徒たちと話をし、日本を好きでいてくれる人がいるということはこんなにもうれしいことなのかと実感しました。そして、それらの事を通して「自分は日本の事を何も知らないな」と思い知らされました。日本の事、特に歴史をもっと学んで、次は台湾のみんなに日本を案内できたらいいなと思います。

また、台湾の人々は本当に温かい人ばかりでした。台湾には親日家が多いと聞いていましたが、それは予想以上のものでした。道を歩いている時にこにこ話しかけてくれたおばあちゃん、先住民の村で一緒に踊った人たち、その他にもたくさんの人たち、本当にありがとうございました。

最後に、9期のみんな、これからも交流していきましょう！みんなとは絶対に疎遠になることはないと思信しています。この出会いに感謝です。第9回で最後となるこの訪問団に参加できて本当によかったです。この訪問団に関わった全ての方々、本当にありがとうございました。

最後に、9期のみんな、これから交流していきましょう！みんなとは絶対に疎遠になることはないと思信しています。この出会いに感謝です。第9回で最後となるこの訪問団に参加できて本当によかったです。この訪問団に関わった全ての方々、本当にありがとうございました。

感謝の表し方とは

小田 創

友人から春休みの予定を訊かれ、一緒に応募したのが台南研修に参加するに至った経緯だ。募集内容を見て初めて台南が東日本大震災で沢山の支援をしていたことを知り、自分も宮城県民という被災地の中心でありながら、支えてくれた人の事を総て分かっていなかったことに反省させられた。「一方的に支援を受けて、その対価として自分は一体何かしたのだろうか？」と考えてみると、なにも恩返しになるような事を成し遂げておらず、パスポートを取得する前から台湾への感謝を体現する方法に思いを馳せていた。自分が勝手ながら想像していたものは、7泊8日の間、震災の支援に携わった方々に感謝を伝える為の挨拶回りや交流会などだった。支援の感謝に観光など入る余地は無いと思っていたからだ。終始黙祷のような重苦しい雰囲気が進むのかと構えていたが、実際は違っていた。



台湾のサポーターは日本から来た高校生を楽しませようと、台湾をもっと知ってもらおうと、元気瀟刺と振舞っていた。始めはそのテンションに乗かってしまうと震災復興支援感謝の枠を越えてしまい、援助金で安く旅行しているだけになってしまう気がして、中途半端だった。しかし行程が進んでいく毎



に、台湾の魅力に浸っている内に考え方に変化が生まれた。「台湾を知れば知るほど、今後の支援をしたくなる」。結果的に台湾人と日本人の繋がりが強くなり、震災の支援が一過性のものじゃなくなる。互いに魅力を伝えることが支援の感謝になることが自分には新鮮で美しいものに見えた。互いに想う人が国を越えて存在していて、お互いに何か有れば心配することが自分にとって台湾を心に留めておく一番の収穫だった。台湾人の日本人への優しさに感謝。1週間ありがとうございました。

大きなものを得た1週間

貝森 政仁

私は今回の訪問で、今までの自分の価値観が大きく変わりました。そして、一生の思い出が出来たと思います。

今回の訪問は私にとって初めての体験がとて多く、異国の人と話すというのも初めてでしたし、違う国の食べ物を食べるというのも初めてでした。全て新鮮で本当に良い経験にもなりました。

これまで私は外国についていまいち興味が持てず、遠ざけていたのですが、今回の台湾訪問によって今までよりも外国が身近に感じられるようになりました。特に台湾のサポーターの皆さんは真剣に私たち日本の高校生に接してくれて、勉強した日本語で話しかけてくれて嬉しかった反面、私は中国語や台湾語を一切勉強していかなかったで、とても申し訳ない気持ちになりました。そして、自分の意識の低さを痛感しました。初めての外国ということで、行くことが出来たというだけで自分の中では満足していたところがあり、その活動の準備を怠ってしまったことを後悔することとなりました。日本の高校生でも、しっかり中国語を勉強してきて臨んでいる人もいたので、恥ずかしかったです。でも、そんな私でも今回一つだけ目標を達成することが出来ました。それは、積極的に現地の人とコミュニケーションを取ることです。私は人見知りの性格で、初対面の人とは相手から話しかけてくれるのを待つことが多く、自分からはあまり話しかける人間ではないのですが、台湾では1週間という短い期間なので、自分から話しかけよう決めていました。最初は生活班のサポーターにバスの中で積極的に話しかけていました。そうして、いるうちに自分の中であまり抵抗が無くなっていき、自然と色々な人と話すことが出来るようになっていました。小さなことかもしれませんが、私の中では結構大きなことだったのです。これからもこの姿勢を継続していきたいです。



そして、今回の訪問団で得た経験や人との繋がりというのは一生のものだと思います。なので、それを一瞬のものにしないようにこれからも何かしらの形で継続させられるように努力していきたいです。

「かとぱん！パンパン！」

加藤 未央

この報告書の題名は私が台湾サポーターから呼ばれていたあだ名です。1週間、元気な声で「かとぱん♡」「パンパン♡♡」と呼んでくれるサポーターが大好きでした。

そんな彼らとも最初は全く話せませんでした。樹谷会館に現れた美男美女8人（笑）日本語が流暢で何を話しのきっかけにするか分からず、質問攻めにされてました。一生懸命な日本語で話しかける姿に徐々に打ち解けられました。しかし、自分から積極的になったのは大学生サポーターの一言があったからです。3日目の先住民訪問で「台湾サポーターはみんなもっと仲良くなりたくて夜遅くまで頑張ってるんだから、サポーター1人1人との時間を大切にしてほしい」と言われました。朝から夜までの過密スケジュールで自分が楽しむことしか考えていませんでした。この言葉が私に台湾サポーターと積極的に交流する勇気をくれました。それからは、サポーターと話すのが楽しくて仕方ありませんでした。バスの移動中の恋話、将来の夢を熱く語り合う、変顔の取り合い、海での投げ合いなどの楽しい思い出も気づけば最終日でした。号泣した高校生にはくりんの「本当の交流はここから始まったばかりだよ」という言葉が深く刺さりました。私はこの言葉に2つの想いを感じました。1つ目は、1週間を共にした仲間との繋がりを終わらせてほしくない想いです。2つ目は、私たちが台湾と日本を繋ぐ架け橋となるんだという想いです。この想いを胸に私たちなりの交流をしていきたいです。また、震災は悪いことばかりではなくてこうして人の温かさに触れる機会を与えてくれたと実感しました。



最後に、素晴らしい台湾、個性豊かな9期の仲間達へ「ありがとう、多謝、謝謝」

最高の思い出♡

桐田 梨生



この研修で、たくさんの人々と出会い交流し充実した1週間を過ごすことができました。普段の生活では学ぶことの出来ない貴重な経験をすることができ、ひとつひとつが新鮮でした。

中でも、台湾のサポーターや現地の人々との交流を通して「台湾の人々の温かさ」を感じました。最初は中国語を話すことも出来ず不安でしたが、サポーターの方々が通訳してくれたので、人々との言葉の壁もなく過ごすことが出来ました。また、どうしていいか分からなかったときや道が



分からなかったときなどには(時には日本語で)声をかけて丁寧に教えてくれたり、台湾の人々はみんな親切に接してくれました。台湾は東日本大震災の時に義援金や物資などをいち早く、たくさん送ってくれた国で親日だと知っていましたが、なぜ日本が統治していた時代もあったのにも関わらず、親切にしてくれるのかと疑問に思っていました。私は、この研修に参加して台湾の人々と交流し自分なりに答えを見つけることが出来たのではないかなと思います。

台湾を訪れて、台湾の方々は日本人の私よりも日本のことを多く知っていてとても恥ずかしくなりました。それだけ日本に好意を持ってくれているということでもあるので、とても嬉しく感じました。これから、外国人に日本について教えられるように、歴史や文化、建築物、食などについて学んでいこうと思います。

9期のメンバーと過ごした1週間はあっという間でした！サポーターや今回の研修に携わって下さった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。これで終わりではなく、これをスタート地点とできるように台南と仙台の交流をより深めていきたいです。この研修で出会った全ての人との出会いに、感謝です。謝謝！！

「台 wonderful days」

久村 理子

一週間の台湾訪問を終え帰国した今、寂しいと感じ台湾での日々に戻りたいと余韻に浸っていること、それは楽しく充実していた台湾での日々を物語っていました。

初めは慣れない環境と聞きなれない言語、2.3度言葉を交わしただけの仲間に囲まれ朝早くから夜遅くまでの活動はとても精神と体力を消耗するものでした。しかしそんなことを振り返る暇もなく時間は過ぎ、徐々に生活にも慣れ、仲間や台湾のサポーターとの交わす言葉も増えていき、笑顔のまま気づけば最終日になっていました。

私がその驚異的な時間の経ちかたの中で得たものはとてもとても大きなものでした。例えばダムや歴史物を観て学んだ台湾の歴史であったり障がい者施設や小学校、高校に訪問したときの交流の中で得た言葉の壁を壊すコミュニケーション能力であったり様々で普段の生活では決して学べなかったようなことです。また台湾サポーターの意欲的で勉強熱心な姿に刺激を受け自分ももっと中国語を勉強してからもう一度台湾に来たいと思いました。

このような貴重な経験できたことを幸せに思うと共に台湾で学んだことをこれからの人生にいかしていきたいと思います。そして台湾の良さを伝えていこうと思いました。

また、このメンバーと台湾サポーターとの計40名で同じ時間を共有できたことが一期一会であり自分の人生の中での一つの大きな宝物になりました。

最後にはくりんがittaいたように本当の始まりは今からという言葉忘れずにこれからも交流を続け



ていきたいと思います。

あと一つ…。感謝カード作りがピークに達していた夜に私にできることはある？と言って多くの人が深夜まで手伝ってくれたこと涙がでるほど嬉しかったです。

台湾で経験したすべてのことを絶対忘れません。この訪問に関わってくれた全ての人に謝謝。

またみんなと 黒田 弥佑

誰とも仲良くなれずに終わってしまうのではないだろうか。と、はじめは不安ばかりでした。

そんなはじめの緊張など忘れてしまうほど、楽しい仲間たちに囲まれた、楽しい日々になりました。

海ではみんなを投げ飛ばし、鉄道ではお墨付きになり、夜市ではゲテモノを食べ、男気ジャンケンで何度も勝利しました。小学校訪問ではコトバは通じませんでしたが、ダンスや遊びで通じ合えたことがとても



嬉しかったです。

楽しいことが多かった分、たくさんお世話になったサポーターの方々とのお別れはとても辛く悲しかったです。同じ場所で、同じ時間を過ごし、私たちが困っているといつも助けてくれたサポーターの方々。最後の最後まで笑顔で手を振ってくれたことを今でも覚えています。

笑って、泣いて、時に怒られて過ごした1週間。かけがえない日々をくれた SIRA のみなさん、サポーターのみなさん、そして同じ9期生の仲間たちに感謝します。

そしてまた、みんなで笑い合える日を楽しみにしています。

「THE 台南」 後藤 隆太

私はこの研修で貴重な体験をたっぷりとさせていただきました。そのなかで、思い出に強く残っている二つを紹介します。

まず一つ目は先住民の方々との交流です。先住民の村では生活体験をしたり先住民オリジナル料理を頂きました。夜には彼らの踊りを見て、一緒に参加しました。日本にも数々の伝統的な踊りがありますが彼らの踊りとは根本的な相違があるのではないかと思います。今回の先住民の踊りは狩りをする前



に仲間を鼓舞するための踊りでした。鑑賞用や祭るための日本の踊りとはルーツが違うことに気が付き



ました。そのため彼らの踊りからは力強さを感じ、自分の士気も高まった気がしました。とはいえ踊りであることに違いはなく、一緒に踊って楽しい時間を過ごすことができました。

二つ目に紹介するのは台湾の大学生サポーターとの思い出です。彼らはバスの中や街歩きの時に目に入るものについて丁寧に説明してくれました。そして案内だけでなく、街歩きをされていて飲食店で注文をしたくても漢字が読めない時に読み方を教えてくれたり、前もって調べていた文法で分からないところをバスに乗っているときに日本語で解説してくれたり、単なる文化交流だけでなく勉強についても教えてくれました。おかげでもっと中国語に興味が出てきたので、これから中国語の勉強を続けて将来自分の力だけでまた台湾に戻ってきたいと思いました。

研修自体は七日という期間で終了してしまいましたが、過ごした時間以上の繋がりがみんなとの間にできたと思います。これから会う機会はそう何度もありませんが、SNSなどを活用してこの繋がりを保ち、またいつの日かみんなと話せる機会を待ちたいです。

ことば 小湊 美穂

初めての土地に行く時、誰しも何かしらの不安を感じると思います。台湾に行く前に私が最も不安に感じていたのは「意思の疎通」でした。訪れる台湾で使用されている言語の知識がほとんど無いに等しい状態で訪問日当日を迎えました。事前研修で台湾サポーターは日本語上級者レベルと聞いていましたがそれほど上手くないだろうと思っていました。しかしその考えはいとも簡単に裏切られました。サポーター全員がとても流暢な日本語を話していたからです。

私が所属する3班のサポーターはイエイエでした。彼女はいつも一生懸命で、台湾での私たちの活動がよりよいものになるようにサポートしてくれました。いつもカメラを持ち歩いていて、何かあるたびにチャーミングな笑顔と共に「写真を撮ろう」と言って写真を撮りました。



また、彼女は台北に住んでいるのにも関わらず、わざわざ台南のことを学び、日本語に訳し、私たちに説明してくれました。赤崁樓へ行った時のことです。もともとスケジュールになかったためか、ほかの場所よりも説明に手こずっていたようでした。しかし彼女は頑張って自分の言葉で私たちに説明してくれました。私たちもそれを理解しようと何度も質問をしました。結果として台湾研修で説明されたもののなかで、その建物ができた経緯などが一番理解できたと思います。

その日の夜、私はとても悔しい思いでいっぱいでした。私たちは他の土地から台湾へお邪魔させていただいている立場です。それなのになぜ私たちは自分たちの言葉のみを使い、現地の方々が私たちの言葉をわざわざ使ってくれるのでしょうか。それはとても失礼なように思えました。次回行く時は必ず現地の言葉を勉強して今度は相手の言葉で話そうと思います。

心の底から愛愛愛愛！

今野 智子



台湾へ行って、たくさんの事を学んで、感じて、考えたけれど、何よりも心に残ることは、台湾の人々の、日本のために、日本を愛してくれて、日本語や日本の文化を学ぼうと努力してくれているその真摯な姿です。本当に感銘を受けました。サポーターさんをはじめ、台湾の方々は日本語が本当に上手だし、熱心に日本と仙台を知ろうとしてくれるし、本当に嬉しかった。私の台湾の知識は全然で、中国語もちんぷんかんぷんだし、「ああもう、なんだよ自分！」と、研修中(終わった今もかな)何度もどかしく思ったことか……。一生の思い出となった今回の

研修は、私たちの事を何よりも優先して考えてくれた台湾の方々の尽力あってのものです！謝謝！そして感動して終わりというわけではなく、自分なりに思うところをまとめると、「思うことより行動することが大切！」という考えにたどり着きました。台湾が好き、お礼がしたい、そう思ったら、中国語を勉強するとか、台湾の文化を調べるとか、自分から働きかけることが一番だと思いました。少なくとも台湾のみんなは、そうやって日本や仙台を知ろうとしてくれている！私も、この思いにこたえたい！私たちがこうして、お互いの気持ちを共有しあえる仲間になれたことは、台湾、台南と日本、仙台の繋がりをより深く、強いものに変える一歩になると信じています。震災から4年がたち、一人一人の思いが形になり始めた今、台湾を訪問することができて、心から良かった。こんなにこんなに濃い一週間を過ごしたのは初めてでした。台湾のみんな、日本のみんな、この研修を提案して、企画して下さったすべての方に心から感謝いたします。本当にありがとう。真的謝謝、再視！

台湾に行ったよ

佐藤 怜美

朝起きて、お父さんが納豆を、食べているのを見て、学校へ行って、泳いで、寝るという毎日は私は送っていました。しかし、台湾に行って、私の毎日はなんてつまらなかったのだ、と思いました。

私は、子どもの目が憧れです。なぜなら、どのようなものも楽しく、魅力的に見えるからです。今回、台湾にいる間、私はその目になれたのです。何があっても楽しくて、幸せで、嫌いなものも好きになりました。この素晴らしいことは、現地のサポーターの方々がいてくれたからこそなのです。1人では絶対に得ることのできないものをたくさんいただきま





した。サポーターの方々と話をした時は、私にとって1番、忘れたくない大切な時間です。

また、イベントの中では、施設ボランティアが心に残っています。特に、ちぎり絵は感動でした。言葉ではなく、心で伝え合い、ひとつの作品を作り上げることができたという経験は、今後の私を強くしてくれる気がします。この活動が成功したのは、台湾の方々のお力です。台湾の方々が一生懸命楽しんでくださったから、私は笑いながら「頑張ってよかった」と言えるのです。

あの時、緊張と不安を殺して、この研修に申し込んで本当に良かったです。台湾のきれいな街並みが映った目も、バイクの音を聴いた耳も、少し慣れない匂いを嗅いだ鼻も、全て私自身のものなのです。当たり前だけれど、今はそれが嬉しくて仕方がありません。自分の意志で新しい貴重なものと出会うことができました。私は、自分の殻を少し脱したようです。

今回出会えた方々へ、謝謝！

「I ♥ ブヌン族・・・」

設楽 悠太

今回参加させて頂いた「第9回台南市訪問団」における台湾での活動は、私にとって初めての海外渡航であったことも相俟って、すべての出来事がどれも新鮮で、忘れられない有意義な経験となった。

印象に残っている出来事の一つに、先住民ブヌン族の小学校訪問がある。交流の一環として「対抗リレー」を行った際の出来事であるが、私の「走り」（足の速さには若干自信はあったが、正直アスリートの域には遠く及ばないレベル（笑））に、見ていた小学生達が何故かいたく感動（？）してくれたのである。小学生達は、自然と近寄ってきて体をさわったり、身振り手振りで話かけてくれたりと、私を囲んで歓待してくれた。陸上部に所属し、大会で走り終わると肩を落とす機会の多い私としては、まわりに人垣ができることは当然ながら初めてのことであり、少し恥ずかしく、ちょっぴり得意気な気分になくなった。ここで強く気付かされたことは、「国」や「民族」、そして「言葉」や「文字」等が違って、「表情」や「動作」、「驚き」や「感動」等様々な手段によって、人は自然とコミュニケーションがとれ、関係が育まれるということである。

しかしながら、訪れた国の言葉や文字を理解し、駆使できることは、更にお互いのコミュニケーションを深めることができるのも事実である。私の現地での活動においては、正直台湾サポーターの語学力に頼ってしまった点が多かった。自分なりにもっと準備をして臨み、もう少し台湾語を話せていたら、より深みのある研修になったのではとの反省もある。

今回の台湾での研修を通して、その他にも非常に多くの様々なことを、感じ、考えさせられた。それらを、今後の自分の日々の生活の中に反映させていくことで、自分もより成長することができるのではと思う。

本当に貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。



高校生活最大の変化

庄子 茉弥



初めはただ何の目的もなく「台湾へ行きたい、自分の世界を広げたい」という単純な気持ちだけでこの研修に臨みました。団員と仲良くやっていけるか、食べ物は口に合うか、トイレトペーパーを流さずに捨てられるかなど不安な点は多々ありましたが、私が一番不安だったのは言語の壁です。現地のサポーターは日本語が出来るとはいえ、私たちはたった一回の中国語の事前研修で本当に臨んで大丈夫なのかと出発につれ不安は大きくなる一方でした。しかし現地についてみるとサポーターの日

本語を話せるレベルは私の想像をはるかに超え日本人の言語能力の乏しさを痛感させられました。最大の不安を解消し現地での一日目を終えたあたりから団員の団結力が欠けていることに気づきました。しかしそれも原住民のパーティーにより解消することが出来ました。初めてのメンバー、初めての地という初めてだらけの環境の中で過ごした七泊八日は毎日が内容の濃いもので1秒たりとも無駄な時間はありませんでした。

私は普段の生活で興味が湧くことは多いものの、それを行動に移すのがなかなかできず自分の世界を広げられずにいました。この研修に参加したのもそんな自分を少しでも変えたいという気持ちがどこかにあったからかもしれません。きっかけや理由はどうであれまずは行動に移すことが大切だということをこの研修で学び、それにより私は心身ともに一回りも二回りも成長することが出来ました。もしあの時この研修の掲示を見て「行ってみたいな」と思うだけで実際に応募しなければこんなに素敵な仲間に出会うこともなかったし今の自分もなかったと思います。もしこれから何かに取り組もうとしている人はまずは行動に起こしてみてください、きっと新しい世界が開けてくると思います。

hot ホットほっと！

菅原 理花

台湾は日本より暖かいです。そして、人々も温かいです。

台湾という国を聞いたことはあっても、どんなところで何があるのか、以前の私はほとんど知りませんでした。インターネットや本で台湾について調べたものの、いまいちイメージがつかずにいました。なので、この1週間のできごとはそのまま私の台湾のイメージとなりました。原住民の村での経験は特に印象深く、私自身も何か変わったような気がしま





す。夜に披露されたダンス、カニちゃんやショウの動きをマネし、踊ったりリズムにのったり... 日本にいたら恥ずかしくてできなかった事です。行動してみたらとても楽しくて、みんなとの一体感も感じました。また、小学校を訪問した時には子供達が折り紙に目を輝かせていました。1 番人気だった手裏剣はうる覚えで、新聞紙で作ってとせがまれたときは焦りました。時間はかかりましたが、手裏剣を渡したら喜んでくれて私も嬉しかったです。言葉が違うので、行動での交流でしたが、なんとなく言いたいことややりたいことが伝わってきてコミュニケーションもたくさんとれました。普通の観光では築くことのできないつながりができました。台湾の町の人々は、歩いていると声をかけてくれたりしました。どこから来たの？と私の名札をみて話しかけてくれるのですが、中国語が話せず、ただ笑うことしかできませんでした。それでもニコニコしてくれました。台湾の人々はとても親切に私たちに接してくれます。温かく、居心地がよかったです。高校生と話しをしたときも、サポーターと共に行動していたときも日本にいるようにリラックスして過ごせました。思いやりの心でおもてなしを受けました。この 1 週間は私の大切な宝物です。感謝の心は、私が台湾で受けたように仙台で行動として示し、もっと仙台の人々にも素敵な台湾を広めて行きたいです。また今回の研修でできたつながりをこの先も大切にしたいと思います。温かい心を多謝!!

台南あいしてる！ 大道寺 真名

台南での 8 日間の出来事は私の一生の宝物となりました。

最初はみんなおとなしかったのですが原住民の村でダンスをみんなと一緒に踊ってから、本当に壁がなくなったと思います。そこがある意味 8 日間の分岐点だったと私は思います。

そしてこの 8 日間で一番一緒に居た、6 班のサポーターのショウヤンには、本当に色々な面でお世話になりました。ショウヤンは「なんで僕が喋るとみんな笑うの？」と真剣に聞いてきて、自分が変人と思われてるのかと、真剣に悩んだりもするまっすぐでお茶目で、でも頭が良くて本当に素敵な人です。6 班サポーターがショウヤンで良かったと心から思いました。台南市の様々なところに訪れ、歴史や文化を学びました。その中で私がこの訪問で、一番感じたことがあります。それは、「日本文化の再認識」です。

高雄での高校訪問で学生と話した時、中国語と台湾語と一緒にされるのは嫌だと言っていた学生に出会いました。中国語に比べ喋る人数は少ないけどその中でも自分は台湾語を喋る！といった誇らしげな顔をした彼を忘れることはありません。文化には様々なバックグラウンドがあり、それは今に影響しています。その中で、時の流れに乗って変化する事も大事だとは思いますが、しかし彼の言葉で、自分の文化を守り続けていきたい、大切にしたいと強く思うようになりました。それが、きっと優しく思いやりのある日本人らしさ、そして自分らしさへと繋がると思うからです。



大学では中国語をとっているのもまた台南でみんなと今度は中国語でコミュニケーションをとりたいと思います。そのためにこれからもっと勉強に精進します。関わったすべての人達に本当に”多謝”！！！！

The new myself

高橋 杏佳



台湾の方々に、直接感謝の気持ちを伝えたい！私の大好きな歌で恩返しをしたい！！そんな思いで参加した。

私が海外に行くのは、2回目。

しかし、1回目で得たものとは違うものを得た。

何が違うのだろう？大きく違う所は沢山の出会いがあった事だと思う。

すべてが初めて出会った人。

みんなそれぞれ、色々な思い。

私自身、自分が何をしたいのかが再確認出来た。

私はやっぱり海外で働きたい！沢山の人を助けたり気を配る事が出来るホテルウーマンになりたい！

そのためには、まず英語を勉強する事、そして相手の立場になって

考える事が大切なんだ！

沢山悩んだり討論して前より相手の気持ちになって考えるという事が出来るようになったと思う。

これからも、それを続けていつかすべてのお客様を笑顔にする事が出来るホテルウーマンになりたい！

そしてもう1つ得たものそれは、歌はすごい！世界中の人と繋がる事が出来る！

日本に帰ってきた今でも日本の音楽の事を教えたり逆に台湾の音楽を教えてもらったりして、音楽で台湾とつながってる。

今は歌で何をしたいとか具体的な理由はまだ分からないけど、これからも歌い続けて、1人でも多くの人を笑顔に出来たらいいなってそう思う。

「なんか、杏佳変わったね！前より輝いて見える！」そんな友達の1言はこの訪問で得た沢山の事を物語っていると思う。

出会ったすべての人多謝！！



仙台湾の共助と感謝。

田口 諒



今回の台南市青少年訪問団は今回が最後という事でこの貴重な機会に参加できた事、大変嬉しく思います。7泊8日で台湾に活動しに行き自分の中の考え方のターニングポイントとなりました。私の行く前の考え方は無理に人とコミュニケーションを取らないということでした。しかし台湾に行ったあとは自分に足りなかった人に考えを伝えることの重要性に気づき周りから支えてくれることへの感謝の気持ちもより一層深まりました。変わった理由としてひとつの体験がありました。私がお店に入ってもものを買うときに言語がわからない自分にサポーターが優しく助けてくれてとても助かったし感謝の気持ちでいっぱいになりました。今回の経験を糧に今後の人生に生かしていきたいと思いました。

震災から4年が経ち私たちの記憶というものが風化してしまっているような気がします。確かに残酷で思い出したくもないぐらい酷いものでした。しかし当時、日本各地・海外からの多大な支援をいただきました。震災を忘れるということは支援を頂いたことに対して罪悪感を覚えます。だから10年後20年後の社会を担う私たち高校生が先頭に立って各国に感謝を伝えるのととの交流を深めていけば災害があった時に共助していけると思います。台湾と仙台の交流はこれからも続けていくべきであり、その交流の先頭に立って行動できればいいと思っています。今度は台湾の人を仙台に誘致したいと思ってます。台湾ありがとう。

転機

田辺 萌

私は、今回の台湾研修でアジアに対する考え方、見方が180度変わりました。

今までも機会があつて数ヶ国に行かせてもらうことがありましたが、そのどれよりも確実に楽しく、勉強になった1週間でした。なぜそう感じたのだろうか、と考えたときに真っ先に思ったことは、人との交流でした。現地のサポーターや訪問先の方々との交流を通して異文化に触れたり会話をすることで多くの新しい発見をしました。本やネットから得られる知識には限りがあり、一情報としか脳には残らないと思います。台湾へ行く前に友人からお茶の体験は楽しかったと聞いていましたが、その時はあまり理解できませんでした。しかし、実際はその友人が言った通りでした。回を追うごとに、お茶の味に深みが増しておいしくなっていくのが分かり、感動しま



した。「百聞は一見に如かず」と言いますが、「百聞は一行に如かず」だと思いました。

台湾へ行く前はアジアの国々に殆ど興味がありませんでした。おそらく心のどこかに台湾にあって日本に無いものはない、と根拠のない過信と優越感に浸っていたのかもしれませんが。今考えるとそれはとても失礼なことであり、自分が醜く思え、今までどれだけ狭い世界の中で生きていたのかと思い知らされました。今は英語圏やヨーロッパに行きたいと思うより他のアジアの国々に行きたいという思いの方が強くなりました。

私の世界観を変えるきっかけをくれたこの研修に携わった方々に感謝したいです。また柏霖の言う通り、台南と私たちの交流はこれからだと思います。自分たちに何ができるかを考え、行動に移していきたいです。そして、10年後にみんなでタイムカプセルを開けに行けたらと思います！

Expansion Of My Vision

富田 利玖

今回この台南市青少年訪問団参加して本当によかったと思いました。人との交流、台南の素晴らしさそして団長の経験など、この企画に参加して学んだことは自分の人生に大きな影響を与え、人間的に成長できました。

第一に、この企画に参加したすべての人が素晴らしい人であり、そんな人たちに出会えたことです。

台南メンバーは優しい人、気遣いができる人、素直な人、真面目な人、積極的になんでも取り組む人など出会えてよかったと思える人ばかりでした。私はそんな人と出会う中で、自分の感情をそのまま表現したり、人のいいところはどんどん口に出すなど、物事に対してとても素直になれました。さらにその素直さが自分への新たな問いにつながり、改めて自分を見つめ直す良い機会になりました。



第二に、台南での出会いや学びです。私は努力家

で困った時にすぐ助けてくれる台南人を尊敬します。また、烏山頭ダム建設や食べ物の文化、被災地支援などを学び台湾人が成し遂げたことに感謝と畏敬の念を抱きました。

第三に、団長という責任感のある仕事を担当したことです。自分は今まで自分から皆を引っ張るような仕事はしたことがありませんでした。しかし今回の経験で自分の新たな可能性に気づけた気がしました。ただ皆のおかげでそれを成し遂げられたことには変わりありません。でもそんなリーダーでも悪くないなと思いました。

今回の企画で様々なことを学び、自分の世界が新たに広がりました。今の目標は言語や文化、人との交流を行えるそんな会社を作りたいという目標に変わっています。そんな自分に成長させてくれたこの企画に携わった全ての人に感謝します。ありがとうございました。



つながる心とつなげる心

本田 美咲

台南で過ごした7日間は私に人とつながることの楽しさや大切さを教えてくれました。最初は1週間



という短期間でしっかりと多くのことを学べるか不安でしたが、私にとってこの7日間は本当に充実した楽しい時間でした。私が一番心に残っている思い出は先住民パーティーです。先住民の方々と一緒にダンスをして沢山笑って、沢山元気をもらいました。今まで何度か海外に行ったことはありますが、今回は一番本気で楽しめたと言えると思います。また、楽しむと同時に交流の大切さを知りました。台南のサポーターを含め現地の方々には心の温かさや私たち日本人に対する

好意をととても感じました。言葉が通じず悔しいこともありましたが、いつでも現地の方々は優しく接してくれました。私も台南の方々に負けないくらいこれからも感謝の気持ちや好意を示していきたいです。仙台市が震災の時台南市から支援を受けたことをきっかけに私たち学生による訪問は始まりましたが、ある意味この貴重な機会は震災なしに生まれなかったと思います。これからもお互い支え合いながら交流を進めていければと思います。私たちひとり一人がより台南市とのつながりを多くの人に広めれば、それが今後の仙台市と台南市の交流のもとになります。今後も多くの機会で台南市と仙台市の交流のパイプ役として努めようと思います。今回の経験では仙台の高校生ともふれ合えたことで色々な面で多くの刺激を受けました。このプログラムに携わる全ての方々のおかげで大いに楽しむことが出来たのだと思います。温かい人に囲まれてこのプログラムに参加出来て本当に幸せでした。ありがとうございました。

やさしさに包まれた、私は小籠包！

増山 ゆい

今回の研修では、心と心のコミュニケーションを感じる場面がたくさんありました。とくに施設ボランティアのとき、私は障害を持つおばあさんとペアを組み、一緒にちぎり絵をしました。最初は全然紙をちぎってくれなくて、何でやってくれないのかなと不安に思いました。しかし後に、してくれないわけではなくて出来ないのだということが分かり、違う仕事をお願いしました。すると、笑顔で作業をしてくれるようになり、私ははじめて心と心がつながったような気がしました。文化も民族も言語も、すべてが違う中で人と人をつなぐのは、相手を理解し思いやる気持ちだということを台湾の人々が教えてくれました。サポーター達も皆、いつも私たちを



気遣い喜ばせてくれて、たくさん思いやりの気持ちをくれました。仙台の子も皆素直で優しい人ばかりで、7日間、私は本当に幸せでした。最後の海の日、空に虹が現れたときはあまりにも幻想的で幸せすぎて、ここで死ねたら本望かも！なんて思ってしまいましたが、あのとき死ななくて本当に良かったと、今思います。台湾での経験をごくごく水を飲むように吸収して成長して、いつか絶対台湾に恩返ししたいです。あたたかな気持ちをくれたサポーターや台湾のために出来る限りのことをしたいと、今強く思います。

最後に、4班のゆいていーに私は心から感謝したいです。最後涙が止まらなかったのは可愛くて、頼もしくてちょっと天然なゆいていーが大好きだったからです。たくさん助けてくれて、元気にしてくれて、本当にありがとう。

第二の故郷 森 美咲

私は台湾に行く前までは台湾の歴史や文化など知らない事ばかりでしたが、今回の研修に参加した事により台湾のことを理解することができました。特に東日本大震災で多くの義援金を寄付して下さい下さった事そして何より私達を台湾に招いて下さった事に感謝しています。そんな心優しい親日家である台湾に行けた事を誇りに思っています。

私は最初台湾に馴染めるか不安でしたが、台湾に着くとその不安は一気に吹っ飛びました。なぜなら、知らない通りすがりの人達が「ようこそ台湾へ」と笑顔で迎えてくれたからです。その時だけでなく一週間の中で何度も色々な人が、私達が日本人だと分かると温かく声をかけてくれました。私は心の底から嬉しかったです。

私が今回の研修で特に思い出深いのは原住民生活体験です。私達が訪れたブヌン族の村はとても自然豊かな村で村の人達は気さくな方が多い素晴らしい村でした。村の方から歌と踊りで歓迎してもらい私も共に踊ったことによりブヌン族の一員になれた様な気がして嬉しかったです。

今回の研修は、どの日程も楽しめ、充実していたので、あっという間に一週間が過ぎていきました。研修で出会った台湾のサポーターのみんな、台湾の高校生と大学生、そして一緒に台湾に行ったメンバーなど多くの人に出会うことができました。また、一緒に時間を過ごしたことにより「絆」や「友情」をより一層深める事が出来ました。今回の研修は私にとってかけがえのないものであり、私を大きく成長させてくれた研修でもあります。いつまでも仙台と台南をつなぐ架け橋の一員でいたいです。第九回台南市青少年訪問団に参加して本当に良かったです。一生の宝物です。多謝。





変顔デビュー

山本 菜摘



台南市青少年訪問団に参加できて本当に良かった。参加できなかったら今の私はいないと思う位沢山のことを得られた。その中でも最も嬉しかったものは人とのつながりだ。

あの8日間、仙台の学生メンバーは勿論、台湾サポーター、現地の方と本当によく話した。普段私は大人しい方だが、心の中にいつでも誰かと話したい自分があることに台湾で初めて気付いた。日本で一所懸命練習した中国語を現地で試してみたくなり、勇気を出して「カーイーバンウォーマー？」と言ったところ、ちゃんと写真を撮ってもらえたときは本当に嬉しかった。

台湾サポーターとは、日本のことを冗談を交えて話したり台湾の食べ物について積極的に尋ねたりなどして、自然と心の距離が縮まり、お別れ交流会ではお互いに感極まって号泣してしまうほど仲良くなれた。帰国して仙台と台湾で遠く離れているが、今も頻繁に連絡を取り合い、心はいつもつながっていることを実感している。8日間だけだが、家族以上にずっと一緒にいた仙台の仲間との絆も切っても切れない。こんなにも自分をさらけ出してお互いを認め合い、心の底から一緒に笑える仲間はどこにもいないだろう。人との出会いは本当に一期一会だ。台湾に行かなかったら、出会うことも仲良くなることもなかった人達——。そんな状況で最高の人とのつながりを得られたことに心から感謝している。

今まで変顔すらできなかった恥ずかしがり屋の私が、自分から皆の輪に入っていけるようになったのは、紛れもなくこの大好きな人達、台湾という土地、そしてこの出会いをもたらしてくれた訪問団のおかげ。かけがえのない宝物をくれた台湾に、心から“多謝”。

報恩謝徳

鍵水 葉奈

応募用紙を見て何となく申し込んだこの、台南訪問団が私にとってここまで掛け替えのないものになるとは予想していませんでした。同じアジアの島国である台湾ですが日本との差異は多く1週間のプログラムの中では退屈する暇もない、またとない感慨多端な旅となったように思います。

どの体験も私にとって大切なものですが1番印象に残っているのは最終日の台湾サポーターとのお別れ交流会です。たったの1週間と言ってしまうえばそれまでですが色濃い思い出を作り上げ、共有してくださったサポーターとの別れは涙なしに終わることができませんでした。台湾での貴重な体験はどれもサポータ



一あつてのものであり、体験の思い出の中には必ずサポーターがいます。街歩き、夜市、古跡巡り、先住民の生活体験……。異文化に触れその中で生活をするという日本の中では決して出会うことのできなかった非日常達は懐かしくとも、まだすぐ近くにあるように感じられます。きっとこの思い出たちは消えることなく私の心に残り続け、これから先、私の背中を押してくれるでしょう。

事前研修から始まったたくさんの出会い。1週間に亘って私達を全力で楽しませて下さった台湾の大学生サポーター、行く先々で出会った方々、そして第9期台南青少年訪問団の皆には感謝の気持ちしかありません。会うは別れの始めと言いますが、この出会いは今後も大切にしていきたいと思います。これから先台南と仙台との交流の中に、自分が関わっていくことでこの素晴らしい体験の恩返しができると思っています。



台南市青少年訪問団9期大辞典

※9期にまつわるあんなことやこんなことを書いてみました。

あ

あそぼつ（はくりんといえはこの言葉、優しい笑顔にみんな惚れた）

う

うおずみ（ますちゃんの謎Tシャツからきたあだ名）

うゝマンボウ（とりあえずゆいが乱用）

うるせえよ（団長の口癖）

ウンのつく事件（こんていーに鳥

のう〇こがつく奇跡）

ウオーアイニー（愛してるという

意味の中国語、便利だった笑）

お

お墨付き事件（みゆの靴が泥により白から黒へ）

おはよう♡（ゆいていの萌え語）

〇A〇A（この音楽でいろんな思い出振り返る）

か

海水うめえ（小田先輩が海に放流された時の名言）

カピパラと遊びたいです！（れいみちゃんの伝説の面接）

き

キス劇場（はくりんとかに、しようとイエイエのいちやいちや）

こ

ここがわたしのアナザースカイ

（まなちゃんの愛嬌炸裂）

コール事件（ゆ〇こさんが先住民の村で・・・）

こんな大学生にはならないでね（山大の優秀な先輩の謙虚さがにじみ出てる）

さ

サポーターサポーター（強めな呼びかけにはじめはびっくり）

し

シェイシェイ（ありがとうという意味の中国語でりが言いまくってた）

手動まばたき（こみほの持ちネタ）

臭豆腐（屋台の賛否両論な味と匂

い、食べたら台湾人なれる）

時間は守りなさい！（川合さんからのお叱りを受けた高校生）

た

食べるゝ（食いしん坊はなの胃袋が怖くなる一言）

タピオカ（台湾のタピオカを飲んだら日本のは物足りない）

は

はい、チーメイ（写真の掛け声）

ひ

ひつどーい（アイドルますやまのモノマネ流行）

ピッキング事件（キャリアケースの鍵をなくしたもりもりだが、ピンで開けて解決）

よ

妖怪ウオッチ（ヨーデル、ヨーデルした1週間）

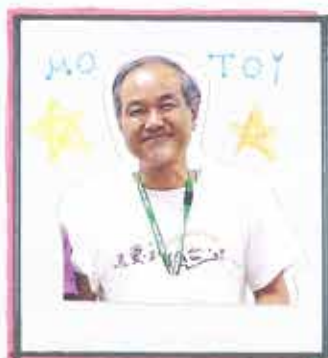
り

りおもゝしたゝい☆（お嬢様りおの甘え言葉）

Ryusei（ランニングマンした思い出の曲）

わ

わたしは今どこにいるでしょうかーここだよ（泣いて笑ったお別れビデオの名場面）



担任 二本柳 基先生

いつでも私のような優しさの
アライアックSmile☆



副担任 川合 朋子先生

クールビューティー
ワールドウーマン・リスペクト!



生徒会長 氏原 由希子
(ゆきこさん)
パワフルニヤッテ
最強姉サマ!!



生徒会副会長 長岡 佑紀
(ゆきさん)
いやしのボイスと
いにしえSmile炸裂王子出



阿部 楓香(ふうちゃん)
天然ガール...を番古♡



渡藤 佑香(いねた)
コイツ色々バグから...BARI



大友 早紀(おおとも)
今年の高祭来しな!!(宣伝!)



桐田 梨生(りおん)
セレブ感は誰にも負けぬ9期生



久村 理子(かよめ)
スライドショーの影が噂とらふ...笑



黒田 莉子(みゆみゆ)
この見ふえ2次期生会長来しな!!



設楽 悠太(だうちゃん)
Theまじめ純粋系Boys!!!!



庄子 菜弥(しまや)
アズー...なに何かが違うセウ



菅原 理花(りかこ)
高2です本当です大人(親)のジ



富田 利玖(团长)
团长さん...团长は、鬼攻め物屋



本田 美咲(みさき)
スタイル抜群!ワンダフルアゲ



増山 ゆい(うおずみ)
ユイはみんなのバスター!!!!

台南学級

Portraits 第9回 台南市青少年訪問団 送愛倒台南・仙台♡



大友 権菜(しい)
つかれてくると全魚化!!



小田 創(小田先輩)
おん田のアイドルランパス最前!



貝森 政仁(もりもり)
いつでもどこでも夢の中ニ



加藤 未央(かとうん)
盛り上げ隊長変腹女王!!!!



後藤 隆太(りっく)
英語ペラペララジアイバー♪



小湊 美穂(こみな)
手紙まじたまさか系女子。



今野 智子(こんでい)
ジュレロに隠れてCRAZY。



佐藤 怜美(さとうちゃん)
ハビエラと遊べるい系女子。



大道寺 真名(まな先輩)
目黒の副団長with大の色気



高橋 杏佳(きょか)
9期の総智恵とまよお先輩!



田口 涼(りょう)
第9期 青い年Brothers



田辺 萌(なべも)
海外は込みの最強セク!



森 美咲(みさお)
実は細毛の副団長(11月24)



山本 菜摘(なちゅん)
Theイベント版風早(君に届け)



金水 葉奈(はなちゃん)
食べる食べる〜に〜食べる〜



〜お〜

の仲間たち
仲がいい

卒アル風





台南市青少年訪問団 報告書



サポーターからのメッセージ

カニ（李佳穎）

もう一回参加させてもらって、本当にありがたいです。実に、9期が始まる前に、面倒くさがりやだから、ちょっと面倒だと思って、まだ始まらないけどもう疲れました（笑）。しかし、活動の間にだんだん“参加してよかった”と思ってきました。いつも元気で、素敵な笑顔をしている、9期の皆が大好きです。この短い人生に皆に出会えて本当によかったです。もうすぐ大人になる私に、キラキラな思い出で青春の最後に色をつけてもらって、ほんとうに幸せです。もう分かれましたが、言いたい言葉、行きたいところ、一緒にしたいこと、またたくさんたくさんあったので、待ってます、再会の日を。一生の友たちができて、幸せです。皆、ありがとう(*´▽`)*♡最後、謝謝香華(姐)讓我再參加一次活動，從你身上我學到很多東西，真的很謝謝你♡



仙台の皆さんへ

ゼニガメ（邱奕軒）



皆さん、お元気ですか。今の私も、自分の日本語とコミュニケーションを磨いて、日本の人と友達になりたいです。

日本語を学び始めて以来、日本各地から来た友達に出会って、よく「台湾は本当にいい友達でありがとう」と言われましたが、自分は実際日本人からお世話になった場合が多いので、今回の活動でちゃんと自分の思いを込めて扱いたいです。

そもそもお互いは違う国で、年齢も違うので、興味以外のことは見方と考え方も違って、その点も実に面白いです。

だって、人は皆違って、皆いいでしょう。時々気持ちはわからないが、違うところを見て、お互いもいつの間にか絆を結びました。皆さんを見て、私も大学生として高校の話を振り替えて見て、青春と言うことを新鮮に感じました。

時々老人っぽくで自分を皮肉するや皆さんにばかばかしい話を言っても、逆にそっちからいろいろ勉強になりました。

一週間の間ありがとう、皆さんも明るい未来の果てへ走り出すように。



イエイエ（葉佳宜）

去年の夏休みの時、仙台に行って、いっぱいいい思い出ができました。だから、この活動に参加したいって気持ちをもって募集しました、もっと仙台との絆長くつづけよと思っています。事前研修の時に、この後の1週間全部日本語でしゃべること気づいたら、なんとなく緊張するようになって、自分ができるかどうか疑いました。どうやって高校生に台湾のことを喜んでもらえばいいかがとても難しかったです。

最初の日、高校生に会ったとき、緊張過ぎて、しゃべった日本語は謎みたいに、誰にも分らなかった。でも、この後、親しくなると、言いたいことも言えるし、ラスト2日の時、赤坂樓に見学に行って、高校生たちは初めて、私の説明が詳しくて理解しやすいと言ってきて、ホントに楽しかったです、やっと自分の努力が無駄に wasn't。別れの日の時、自分のメンバたちが泣きながら一週間の感想を言って、ついに、私も泣きました。この活動は終わった後、偶々友達にこの一週間の思い出をシェアして、高校生たちはとてもかわいくて、一週間ありがとう、いっぱい思い出ができました、これから、まだ会おうねー。



ゆい（楊淳方）



日本語に囲まれた一週間はあっという間に終わりました。

今まで勉強してきた日本語はどれくらい通じるのかなと思って、そして自分が生きている土地についてもっと知りたかったので、今回の台南市青少年訪問団の台湾サポーターになるのに応募しました。最終回の9期メンバになれてよかったと思います。

今回の訪問活動に参加する前に、私は台南に行ったことは一回もなかったです。最初は緊張と不安なことばかり考えて、事前研修から本番まで毎日いらしていましたが、日本高校生たちと過ごした一週間は毎日楽しくてずっと笑っていました。みんなはとても優しく、思いやりのある人たちでした。いつも笑顔で話しかけてくれることにも感謝しました。このようなすばらしい人たちに会った私は本当に幸せ者です。

私は台湾人なのに、台湾のこと聞かれたらわからないことは結構ありました。かえって高校生たちに日本のことをいろいろ教えてもらいました。そのことで日本をもっと好きになりました。また、自分が不足しているところを認識して、自分の国について何でもわかるように頑張りたい気持ちになりました。

妖怪体操を踊るのは楽しかった。施設の人とボールゲームをやるのも楽しかった。4班としゃべったり、歌ったりして、一緒に行動するのも楽しかった。今考えたら、この一週間は楽しい思い出ばかりでした。どれでも貴重な経験でした。やっぱり人と人の繋がりは一番大切なものだとよくわかりました。またみんなと会えたらいいなと思っています！

ゆみ（張琦）



台南で仙台の高校生と出会い、素晴らしい一週間を体験しました。最初はお姉さんとしてサポートできるかどうか不安でしたが、5班のメンバーは親切に話し合ってくれてほっとしました。密集したスケジュールのお陰で、台湾の古都と一緒に歴史を勉強しながら、遊びました。特に先住民たちとのあの夜は、みんなさんと踊りながら、一瞬心が通じるような感じがした。夜市では揚げコオログが売れなくて残念だけど、臭豆腐を挑戦

した。おいしいものは国を越えるのですね！

それだけでなく、交流会で日本のリレーや折り紙は楽しかった。こっちも負けたくないの、一所懸命ゲームやビデオを作りました。そのせいもあって、別れ会で涙が止まらない。私にとっては不思議な一週間でした。せつかく慣れた環境から歩き出して、いっぱい楽しめたいと思います。今すぐ仙台にいきたい！ビーフタン食べたいです！また台湾来てね！^^

しょう（何 松俊）

最初は学校の先輩からこの活動を伝えられて、2014の夏休みの時にも、仙台に行ったことがありますので、この活動には必ず参加したい気持ちをもって、頑張ろうと思っていた。

今から、あの一週間のこと思い出して、あっという間だと思っています。最初の三日間はいろんなところに行ったり、私は台南で勉強のため、紹介したいところまだいっぱいあります。この後、原住民のと





ころに行って、少しお酒を飲んで、ノリノリになった、みんなと手をつないで、一緒にダンスをして、すごくいい思い出ができました。次の日の烏山頭ダムとか夜市とか、いっぱい思い出もできたけど、離れの日もうすぐことも気づきました。私は初めて日本の高校生と一緒に生活している、自分も高校生に戻るみたい、みんなと遊んで、とても楽しかったです。この活動を通して、日本の高校生に台湾のこともっと知ったり、理解したり、この後、台湾と日本のつながりをもっと大切すると思っています。

はくりん(呉 柏霖)

皆さん、こんにちは！はくりんです。

今報告書を読んでいる君は、元気で過ごしていますか？

第九回台南市青少年訪問団は、私にとって五回目です。

最初の第五回は、なんでもはじめて、日本語もぜんぜん未熟で大変でしたけど、仙台の皆さんとサポーターたちにたくさん手伝ってくれて、暖かくて忘れられない思い出ができました。

それは力になって、もっと頑張ろうと思って、六、七、八回をやってきました。毎回毎回少しずつ成長して、仙台の皆さんともっと交流できて本当に嬉しくて感動でした。

そして一年が経って、第九回の皆さんを迎えに行く日も来ました。

実は、毎回の訪問団は雰囲気違います(笑)。例えば、五回は明るい；六回は元気；七回は酒飲み過ぎ；八回は親切でした。

では、第九回は何でしょうか？最初は、皆さんがすごいシャイで、あまり明るい感じがしませんでした。どうすれば仲良くできるか；どうすれば盛り上がるか；どうすれば皆さんの顔が楽しそうにするか、私と台湾の皆はこっそり悩んだり考えたりしていました(笑)。

でも、それは考えすぎだなと思いました！皆さんと友達になってから、それら問題もなくなってきました。友達というのは、サポーターとして皆さんのことをサポートして仲良くすることではなく、本当に交流して親しくなるということだと思います。友達になって、いっぱい遊んだり食べたり話したりしたら、一人一人の魅力はそんなに大きいなんです。明るい、元気、親切、面白い、かっこういい、可愛い、優しい、大人っぽい等々、皆さんから全部見えます。

第九回のこの一週間は、すごく楽しくて良い思い出いっぱいでした。

ということで、第九回は「青春」だと思います。ちょっと古いドラマみたいですが、これが一番良い言葉です(笑)。

今ここまで読んでくれた君も、その時の感動を思い出しましたか？

私たちは、今でも連絡をとっているはずですよ！

それでは、これからもよろしくお願いします。



Jason (陳秋廷)

I am glad to attend the active with u guys! I hope that you will love Taiwan by this trip , and share your experience with your friends.

Wish you the best on your studies , and meet u in Sendai.



Grace (徐香華)

Dear all,

It's a little sad that no more tour will come after this 9th tour.

So I always thought that we are so lucky to meet each other at last tour.

I really hope that all of you could have a wonderful and unforgettable memory in Taiwan.

Welcome to Taiwan again!





はじまりの春

氏家 由希子（大学生サポーター）

ただいま、台湾。サポーターとして半年ぶりに訪れました。応募は自分の中で迷って、中途半端が許されないことも、台湾が好きというだけでは上手くやれないこともわかっていました。でも、失うものはなにもない！面接では自分が高校生の“助け船になる”と宣言しました。研修中の戸惑いや不安を和らげて、台湾サポーター達との楽しい時間を共有するための助け船。団員たちが仙台と台南の架け橋になるのなら、私は橋と橋とを行き来する船になって忘れられない春にしたい。そう思いながら過ごした第9回訪問団、私は助け船になれていたのでしょうか……。最初はサポーターとの距離感や、日本とは異なる土地の雰囲気慣れるまでの時間がかかったかもしれないけど、あっという間に過ぎ去った7日間を終えた最後、別れを惜しみ台湾が大好きになっている団員たちが、7期団員だったあの夏の自分と重なりました。9期の訪問団も大成功！胸を張って言えます。個人的には、団員とサポーターという視点の違う経験ができて大変貴重でした。

全9回、300人近くの学生たちが似た経験をできても思い出の色はそれぞれ、そして同じ気持ちを持ち続けるって実は簡単じゃないかもしれません。震災のことをどれほど忘れないと言っても、時とともに色あせがちになってしまうように。だけど、台湾のみんなの温かい心に触れて味わった喜びを、ずっと大事にしたい。9回の訪問団それぞれで活躍してくれたサポーター達と、バックアップしてくださった奇美のため、台南と仙台のためにできること。団長も言っていましたが私たちはもう“親友”ですから、互いの国について



ていかなくてもなりません。訪問団は今回で一区切りだけど、はじまりの春！日本と台湾の絆、実話を描いた『KANO』を観ながら共に語らえる日、みんなと再び会える日を心待ちにしています。多謝台南！

考える。行動する。

長岡 佑紀（大学生サポーター）

ほんとにうまくいくのかな。最初に抱いていたそんな不安が杞憂に終わった 8 日間でした。

思い返せば食べて食べて、マンゴー食べまくって、胡散臭いサングラスかけてはしゃぎまくった 8 日間でした。7 期とはまた違った楽しさと学びのある 8 日間でした。

そんな中で僕なりに気付いたというか、ずっと心がけてたことを書きたいと思います。
‘自分に何ができるのか。’ このことを訪問団のサポーターに選んでいただいたときからずっと考え続けてました。

みんなの仲をよくするためにはどうすればいいのか。どうしたら自分の話を聞いてくれるのか。うまく伝えられるのか。そのためにはどんなキャラで振る舞えばいいのか。こんなことばっか考えてました。そんな中でやっぱりうまくいかないことや、苛立ちを感じることもたくさんありました。

その中で改めて気付いたのは、‘具体的に考えること’と‘全力で楽しむこと’の大切さです。

これいいかも！ってアイディアが浮かぶことがあっても、いったん立ち止まって、具体的にはどういうこと？何のためにするの？自分がただやりたいだけじゃないの？などなど考えてみる。そうすれば、本当に意味のある行動を起こせると思います。

そして何より楽しむ。どうしたら楽しくなるのか考える。いろいろうまくいかないこともあるけど、なんだかんだ前向きに楽しんだもの勝ちだなんて思います。

最後に、何度も伝えてることだけど、楽しかったで終わらせないよう今後もつながり続けましょう。僕自身もこの出会いを大切にします。

今回の活動で支えてくれたすべての方々に感謝の気持ちをお伝えします。

ありがとうございました。

これからもよろしくお願いしますね！





同行者より

第 9 回台南青少年訪問団は、最後を飾るにふさわしい訪問団になりました。

訪問団員は日々成長を見せ、盛りだくさんの行程を元気に、誰ひとり欠けることなく、こなしてくれました。毎日、翌日の活動準備などに取組み、就寝が 12 時をまわる中でも、体調不良を訴える者もなく、ボランティア活動や学校訪問など一丸となって取組み、しっかりと使命を果たしてくれました。これは、団員の努力や同行した学生サポーターのバックアップはもちろんですが、奇美集團の職員や台湾の大学生サポーターの訪問団への厚い支援を忘れてはならないと考えています。当初の活動で、子ども達の積極性を、日本からの学生サポーターと台湾の学生サポーターたちが引き出してくれました。子ども達の積極性は、地元の人達との交流でより深い交歓を生み、さらに、そのことが全ての行程での子ども達の生き生きとした行動につながったと思っています。サポーターのアドバイスを素直に受入れ、活動に生かした子ども達も素晴らしいと思います。この第 9 回の訪問団に同行し、かけがえのない思い出を共に作れたことに心より感謝します。本人には自覚がないかもしれませんが、この 8 日間で大きく成長した子ども達に、さらなる挑戦を期待しています。

最後になりましたが、この訪問団にご協力いただいた全ての方々に、改めて心より御礼を申し上げます。



(公財)仙台国際交流協会 常務理事 兼 事務局長 二本柳 基

3 年計画で始まった台南市青少年訪問団も、ついに最終回を迎えました。

震災直後の 2011 年 4 月、この訪問団の提案を台南からいただいてから早 4 年。初めは全てが手探りで、3 年後のことは正直想像もできませんでしたが、振り返るとあつという間でした。第 9 回の高校生たちは、最後の訪問団にふさわしく、笑って泣いて台湾を体中で感じているようでした。こちらの予想以上のものを吸収していく高校生たちを頼もしく、眩しく見ていました。

「復興を担う人づくりこそ、経済支援にも勝る支援である」という考えで始まったこのプロジェクト。全 9 回で、この訪問団を通じて台南に行った青少年は 268 人。台湾のサポーターやスタッフを入れると一体どのくらいの人と同じ経験をして、同じ想いを共有したかわかりません。「人が街をつくり、国をつくる。そのための人材を育てる。」奇美グループの林副会長の言葉です。自分を含めこのプロジェクトに関わった人が、これから仙台や台南、日本、台湾のために何ができるか、本当のスタートはここからだと思います。

第 1 回訪問団を担当した時、まさか第 9 回訪問団を見ることができるとは思っていませんでした。試行錯誤の繰り返しと、力不足なことばかりでしたが、この訪問団から学んだこと、出会った人たちは、私の人生の財産です。このプロジェクトの担当になれたことを幸せに、そして誇りに思います。

いつも笑顔で迎えてくださった台湾のみなさん、仙台で支えてくださったみなさん、訪問団実施にあたり数えきれない方々にお世話になりました。ご協力いただいたすべての方に心から感謝いたします。



(公財)仙台国際交流協会 総務企画課 企画係 川合 朋子



第9回台南市青少年訪問団 Tシャツデザイン

宮城県仙台東高等学校2年 加藤 未央
宮城県仙台二華高等学校2年 菅原 理花

表胸のワンポイントには、日本と台湾の国旗を混ぜて日台の友好をイメージしたデザイン。
裏はみんなの訪問団に対する期待のワクワク感と、台湾への感謝の気持ちをのせた飛行機が仙台から台湾に飛んでいく様子を表しました。
台湾語でありがとうの意味「多謝」の文字を背中にしょって、台南の街を歩いてきました。



送愛到仙台



第9回台南市青少年訪問団 報告書

編集・発行 公益財団法人 仙台観光国際協会 (旧：仙台国際交流協会)

〒980-0804 仙台市青葉区大町2丁目2-10

仙台青葉ウイングビルA棟11階

TEL: 022-268-6260 FAX: 022-268-6252

E-mail: plan@senticia-sendai.jp HP: <http://www.senticia-sendai.jp>